



お元気ですか！
志村 たかよし です

第885号 2018年4月15日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

オリンピックが緑を壊す

オープンから42年育てた晴海ふ頭公園



18年3月25日の様子

2020東京五輪にむけて晴海選手村整備が進んでいますが、それにあわせて晴海ふ頭公園の豊かな緑がバツサリと伐採されてしまいました（左写真）。

美濃部革新都政のもとで「都民が海と自然に、ふれあえる場」として75年12月1月に開園された晴海ふ頭公園では緑が豊かに育ち、広い芝生や噴水、花壇、流れる水遊び場などもあって、子どもたちにも喜ばれていました。

レインボーブリッジや大型クルー

五輪のために豊かに育った樹木をバツサリ

ズ船を眺めながらのバーベキューにも多くの人が集っていました。

いま、オリンピック施設の多くが公園内に建設されるため、晴海だけではなく、有明テニスの森やお台場海浜公園など都内のあちこちで多くの緑が失われています。

馬事公苑では樹齢百年の木を伐採

世田谷区の馬事公苑では、東京五輪の会場整備のために、緑の樹林とその景観が消失してしまいま



17年7月29日の様子

した（左写真）。

広大な伐採跡地には新しい建物群と馬の練習場が作られるそうです。

東京五輪のために豊かな樹木が伐採され、築地市場まで移転させて駐車場を作ろうとしている…。

オリンピックのためなら何をしても許されるのでしょうか。

これでは、東京五輪への都民の支持は高まるはずありません。



工事前の風景
(2016年夏)
緑が豊かで
地面が見えないほど



工事中の風景
(2017年12月)
現れた広大な敷地の一部

市街地再開発の間⑮

「まちづくり勉強会」Ⅱ 「再開発入門講座」

別の地区の「まちづくり勉強会」は、もつと露骨です。

その地区の第1回目の資料には「再開発事業の進め方」（資料4）として、次のように書かれています。

3. まちづくり検討会について

(1) 再開発事業の進め方
 ・市街地再開発事業を進めるためには、以下のようなステップが必要となります。

主なステップと検討項目

「検討会」

← (加入)

「準備組合設立」 (任意組織)

← (都市計画として定めることに対する同意)

←

「都市計画決定」

←

(組合を組織することに対する同意)

「再開発組合設立」 (法律上の法人格を持つ組織)

←

(権利変換の内容に対する同意)

「権利変換計画認可」

← 「工事着工」

「再開発建物完成」

「新たな生活・営業のスタート」

← 第1回目勉強会から、これです。

「まちづくり勉強会」イコール「市街地再開発入門講座」と言っても過言ではありません。

これらの「勉強会」や「検討会」

での説明や意向調査などを区はコンサルタントに委託しています。

(つづく)

・市街地再開発事業を進めるためには、以下のようなステップが必要となります。

